

### 概要

本県の海域は、内海性の播磨灘，流入河川が多く内海と外洋の中間的な性格の紀伊水道，黒潮の直接の影響を受ける太平洋に三分され，複雑・多様な海域環境を形成されています。

水産研究課では、こうした環境で営まれている，多種多様な漁業の振興に対応するため，鳴門庁舎と美波庁舎の2つの庁舎に分かれ，それぞれ県北部と県南部の漁業の実情に応じた技術開発を行っています。また，漁業調査船とくしまによる海洋観測をはじめ様々なモニタリング調査により，漁業が営まれている海洋環境を監視し，その結果を漁業関係者に情報提供しています。

### 主な研究課題

#### < 漁海況及び漁業資源 >

- ・調査船による海洋観測
- ・資源評価調査
- ・資源・漁獲情報ネットワークの構築

#### < 藻場・磯根資源 >

- ・ウニの食害から藻場を守るための技術開発
- ・効果的なアワビの放流技術開発

#### < 藻類養殖 >

- ・気候変動に対応したワカメの優良株の開発
- ・藻類養殖漁場への栄養塩の添加（施肥）技術開発

### 海洋生産技術担当

- 漁海況に関する調査・研究
- 浮魚・底魚資源に関する調査・研究
- 藻場及び磯根資源に関する調査・研究
- 魚病に関する調査・研究
- 六次産業化に関する技術開発
- 魚類・藻類養殖に関する技術開発

### 環境増養殖担当

- 赤潮プランクトンに関する調査・研究
- 貝毒に関する調査・研究
- 藻類養殖に関する調査・研究・技術開発
- 内水面漁業に関する調査・研究
- IoT・AI活用に関する技術開発



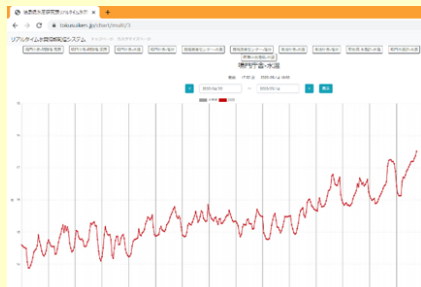
漁業調査船とくしま



アワビの放流種苗



ワカメフリー配偶体の培養



IoTを活用したリアルタイム水温情報の配信

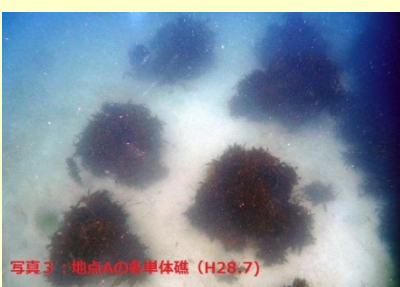


写真3：地点Aの単体魚礁

ウニの食害に強い単体魚礁



新しく開発した低利用魚のレトルトパック

問合せ先 徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課  
電話 0884-77-1251 (美波庁舎)  
088-688-0555 (鳴門庁舎)